

【医師がマンガで教える】 コロナ禍の学生生活で「良いこと」と「注意すること」

救急医療支援システム「Smart119」の開発・運用を手がける株式会社Smart119（本社：千葉県千葉市、代表取締役社長/CEO：中田孝明）は、教育機関の要望に応じ、新型コロナウイルス感染症流行時における学校生活について、株式会社Smart119中田代表の監修により、わかりやすい一枚のマンガにまとめて一般公開しました。こどものいる家庭に届くよう、学校、企業、公共機関、町内会等で自由に配布・利用していただくことが可能です。



Smart119が提供する「医療知識マンガ・シリーズ」では、救急・集中治療医と医療現場の見識から、これまでマスクのつけ方やメンタルケア、そして飲食店における新型コロナウイルス感染症対策を採り上げてきました。すでに多くの公共機関などで有効活用されています。春の進学・進級シーズンを目前に、大学、幼稚園、小中高学校等の教育機関から「学校生活での感染症予防対策を採り上げてほしい」との声を多くいただきました。

感染症対策の報道では、医学的な専門用語、また「会食」という言葉も「接待や飲酒がある会合」とのイメージがあり、児童・生徒は正しく内容を理解していない傾向が見受けられるそうです。こうした背景から、教育現場では感染予防の啓発指導の難しさを感じています。

本作は、コロナ禍の学校生活にある「良いこと」「注意すること」に分けて、親しみやすいマンガと平易な言葉で、健やかなスクールライフへ手ほどきをします。

代表の中田医師をはじめ、実際にコロナ患者に直接対応する機会もある医師、救命救急士、看護師など、医療の専門家が集結している株式会社Smart119は、救急医療や新型コロナウイルスに関する情報をマンガを通じて提供しており、本作が第14作目となります。今後もSmart119では、医療従事者や一般の方に向けて、救急医療の現場で得られた正しい知識を分かりやすく解説し、幅広く日本の医療に貢献していきたいと考えています。

<制作背景>

教育現場からの声

- ・難しい用語や略される言葉は、児童・生徒が理解しづらいもので、感染予防行動を指導するにも苦慮している。
- ・マスクミで見聞きする言葉からのイメージが先行してしまい、それ以外は大丈夫との認識が子どもたちにはある。
- ・こうした中で児童・生徒たちには誤解が醸成されていき、予防行動が散漫になっていることが感染拡大の要因の一つと考えている。

医療現場から本作制作にあたって

- ・学校生活で気をつけるべきことなど、児童・生徒に向けて伝えるべき事柄を絞る。
- ・言葉を学校生活で実感あるものに置き換える。
 - 「会食」：接客を伴う夜のお店、飲酒会合などのイメージ → 学校での昼食場面。
 - 「昼カラ」：年配者が集う昼間のカラオケのイメージ → 放課後のカラオケの場面。
 - 「3密」：言葉のみとなって内容のイメージがわからない → 密接、密集、密閉の注意すべきこと。

上記から、感染予防のポイントを平易な言葉で解説し、具体的な行動をマンガで描いて、児童・生徒たちに理解と実践しやすい内容にしました。

◆印刷用資料ダウンロードリンク

<https://smart119.biz/manga/000300.html>

◆テーマ

「コロナ禍のスクールライフの良いこと（○）といけないこと（×）」

◆解説者

中田孝明 千葉大学 救急集中治療医学 教授

◆ポイント1：学内で良いこと（○）

- ・なるべく人と約2mはなれる。
- ・インフルエンザや新型コロナウイルスの予防接種を受ける。
- ・こまめな手洗いをする。
- ・咳やくしゃみの時は、ハンカチなどで口と鼻を覆って、その後は手洗いをするエチケットを守る。
- ・マスクを着用する。

◆ポイント2：学内で注意すること（×）

- ・密接 → 教室や学食の昼食は「会食」と同じで集まらずにする。
- ・飛沫感染 → カラオケや集まりでは、大声で歌わない、話さない。
- ・密集 → 混んでいる場所へは行かない。
- ・密閉 → 換気の悪い室内に入らない。
- ・接触感染 → 物を共有しない。

◆ポイント3：学外で良いこと（○）

- ・家から近い場所で遊ぶ。
- ・バーチャルで集まる。
- ・なるべく一緒に住んでいる人とのみ集まる。
- ・一緒に住んでいない人と集まる場合は屋外で。
- ・飲食物、道具などは自分専用のものを持参する。

◆医療情報イラストレーション・シリーズ ホームページ

<https://smart119.biz/manga/>

※画像など当コンテンツを報道にて引用頂く場合は、「(株) Smart119 提供」と記載ください。

また、その際はpress@smart119.bizまでご一報いただけますと幸いです。

<株式会社Smart119について>

株式会社Smart119は「現役救急医が設立した、千葉大学医学部発ベンチャー」です。

『今の「119」を変える』ため、音声認識とAIを活用した救急医療支援システム「Smart119」を開発・運用。

千葉市において、日本医療研究開発機構 (AMED) の救急医療に関する研究開発事業を実施。

緊急時医師集合要請システム「ACES」、災害時の病院初期対応を「Smart DR」の開発・運用を行なっています。Smart 119は「安心できる未来医療を創造する」を目指します。



Smart 119

【株式会社Smart119 会社概要】

会社名: 株式会社Smart119

住所: 千葉県千葉市中央区中央2丁目5-1千葉中央ツインビル2号館 7階

設立: 2018年5月

代表者: 中田 孝明

事業内容:

音声認識とAIを活用した救急医療支援システム「Smart119」の開発・運用

緊急時医師集合要請システム「ACES」の開発・運用

災害時の病院初期対応を「Smart DR」の開発・運用

URL: <https://smart119.biz>

Twitter: https://twitter.com/Smart119_jp

メールアドレス: press@smart119.biz (担当: 中村)

株式会社Smart119のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/56624